



- 研究炉で照射した燃料や材料の冶金学的・化学的基礎物性試験を行う目的で昭和36年に竣工し、日本で初めての照射後試験施設として供用運転開始。
- 平成14年度(42年間稼働)をもって全ての照射後試験を終了。
- 平成15年から管理区域解除を目指し、段階的なセル等の解体撤去を実施中。

## ○廃止措置 H15～

- ・鉛セルの解体撤去(実績:30基)、残り7基
- ・照射済燃料の他施設へ搬出  
H26年度:終了  
R2年度:PP区域の一部縮小(冶金側を削除)
- ・コンクリートセルの解体撤去  
試験設備の撤去、セル内除染

## ○未照射核燃料物質の一括管理 H19～

- ・貯蔵室の整備
- ・未照射核燃料物質の受け入れ  
H25:U棟、H25～26:NFI、H26:SGL、H27:Pu1棟、  
H28:第4研究棟、H30:JRR-4、R2:Pu1棟、  
R4:TCA、R5:TCA(予定)

### <鉛セルの解体撤去>



解体前



現在